

NEWS RELEASE

報道関係者 各位

ニッケグループ社員への年頭挨拶

新年、明けましておめでとうございます。
皆様におかれましても、気持ちを新たに新しい年をお迎えのこととお喜び申し上げます。
また、年末年始も勤務されていただきましたみなさん、ご苦労様でした。

年頭に当たり、ニッケグループの皆様へご挨拶を申し上げます。

昨年、2018年度は「RN130ビジョン第1次中期経営計画」の折り返し地点でした。コルトンプラザ別館リニューアルやバイリンガル幼稚園の着手、M&AによるEC事業強化、ユニフォーム事業・産業機械事業の中国事業展開の推進、研究開発分野におけるメディカル関連の事業化など、中計達成に向け、私たちは様々な布石を打ってきました。みなさんのチャレンジの成果に感謝いたします。

第1次中期経営計画の進捗としては、衣料繊維事業での遅れはあるものの、ほぼ順調にきています。本年2019年度は第1次中期経営計画の最終年度になります。目標の売上高1,200億円、営業利益90億円は容易ではありませんが、その準備は出来ており、達成できると確信しています。

今年の干支である「亥(いのしし)」は、相場格言で「亥(いのしし)固まる」と言われています。ここでの「固まる」は、前年のいい流れをさらに良いものにしていくことを意味します。今の流れをさらに加速させ、計画の達成を目指したいと思います。

さて、今回は「平成最後」の年頭挨拶となります。平成初期はバブル経済終焉のあおりを受け、暗い雰囲気でしたが、こうして終わりを迎え振り返ってみれば、技術革新がすさまじい勢いで進んだ時代でした。その結果、プロダクトライフサイクルが短期化し、消費者の価値観も多様化され、破壊的イノベーションが既存のビジネスモデルを駆逐しました。これからの時代は更に、AIやIoTが生活やビジネスをより大きく変えていくでしょう。このような激しい変化のなかで勝ち残っていくには、我々も将来の成長に向けて事業を変革していかなくてはなりません。

自分が提供するサービス、商品が、どうお客様から評価され、どの様に改善すれば、ライバルに差を付けることができるのか？どうすれば生産効率が上がり、コスト競争力がつくのか？こんなサービスや商品が出来れば、より便利で豊かな社会になるだろうと、目線を上げて現状を変革していくことが、事業を発展させ、魅力あるものにしていきます。

私は、これからも魅力ある事業の創造と拡大にチャレンジします。そして、新しい時代のニッケグループを皆さんと一緒に創り上げていきたいと思っております。

最後になりますが、今年もニッケグループの皆様とご家族が明るく健やかに過ごせる1年になるよう祈念いたします。私からの挨拶とさせていただきます。



ニッケグループ代表
ニッケ 代表取締役社長 富田 一弥

《本件に関する問い合わせ先》

ニッケ 総務法務広報室
室長 國枝 康雄
Tel : 06-6205-6601